

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



認証番号0000067

環境経営レポート

自2025年4月 ～ 至2026年3月



目次

ページ

■会社概要	2
■認証登録の対象組織・活動	2
■環境経営方針	3
■経営理念、経営指針、行動指針、セイロ15S	4
■環境経営実施体制と役割	5
■過去4年間の環境経営実績	6
■中期環境経営目標	7
■環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	8
■次年度の環境経営目標及び環境経営計画	14
■環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	15
■代表者による全体評価と見直しの結果	15



株式会社 セイロモータース



2026年6月30日発行

■ 会社概要

1 会社名及び代表者氏名

株式会社セイロモータース
代表取締役 紙谷 辰雄

2 設立 昭和28年7月20日

3 資本金 9,000万円

4 事業活動の内容

サービス部門	自動車整備（車検・修理・钣金）
車 販 部 門	新車・中古車販売、リース・レンタカー
保 險 部 門	損害・生命保険代理店

5 事業の規模

	厚木本店	北海道支店	西東京支店	大阪支店	合計
売上高(百万円)	313	134	170	184	801
従業員数（人）	21	9	10	14	54
敷地面積（㎡）	2,760	2,242	596	564	6,162
床 面 積（㎡）	1,221	491	364	496	2,572

6 所在地及び認証登録範囲

本社・厚木本店	神奈川県厚木市岡田2丁目13番52号
北海道支店	北海道札幌市北区新川4条20丁目1番35号
西東京支店	東京都東村山市秋津町3丁目50番6号
大阪支店	大阪府豊中市勝部1丁目8番12号

7 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	： 本社 管理部長	岸川 貞夫
担当者	： EA21推進事務局 推進リ-ダー	佐藤 善浩
連絡先 電 話	046-226-6891	FAX 046-220-5212
e-mail	kishikawa@saeilo-motors.co.jp	

■ 認証登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社セイロモータース
所在地	神奈川県厚木市岡田2丁目13番52号
事業活動	自動車整備、販売及び保険代理店業
対象事業所	本社・厚木本店、北海道支店、西東京支店、大阪支店
認証登録番号	0000067
認証登録日	2004年11月30日

■ 環境経営方針

基本理念

当社は、地球環境に配慮した持続的循環型社会の実現が、世界共通の課題であることを認識し、環境経営方針を定めて、環境経営の継続的取組と改善を推進します。

行動指針

1. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、事業活動に於ける電力・紙・水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の削減等環境負荷の低減に努めます。

2. エコカー・エコ整備等による有害排出ガスの低減

低燃費・低排出ガスなど環境に配慮した商品やサービスを提供することでお客様と連携した環境保全活動を推進します。

3. リサイクル活動による省資源化の推進

リサイクル部品の使用推進及びグリーン購入の推進に努めます。

4. 廃棄物の削減・分別処理

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

5. 化学物質の効率的使用と適性管理

使用する塗料や溶剤等、化学物質の適性管理に努めます。

6. 環境に関する法令遵守

環境に関する法令等及びその他の同意する要求事項を遵守します。

7. 環境経営方針の周知徹底

環境経営方針は、全従業員に周知・徹底すると共に社外にも公表します。

以上、上記の取組内容を誓約致します。

2004年3月1日制定

2019年3月1日改定

株式会社セイロモータース

代表取締役 紙谷 辰雄

■ 経営理念

『為に生きる精神』をもとに、真の地球村づくりに貢献する。

■ 経営指針

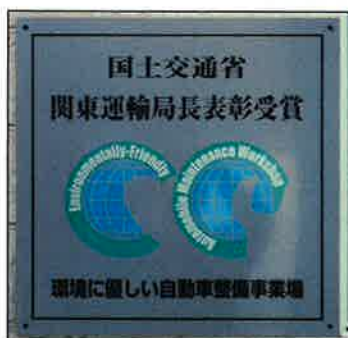
1. お客様と共に喜びと感動を分かち合い、共に繁栄する企業を目指す。
2. 人と地球にうれしい、豊かなカーライフの提案をする。
3. 地域の活性化から社会へと、グローバルな観点で文化発展に貢献する。
4. 常に新しい技術やシステムを導入し、創造的な新規事業に挑戦する。
5. 社員に自己実現の場を提供し、活力にあふれた革新的な風土をつくる。

■ 行動指針

1. お客様の立場で考えよう！
2. 車のことなら私にまかせろ！
3. いつも励んで世界にはばたけ！
4. 遊んで学んで、何でもチャレンジ！
5. 明るく元気に自己実現！

■ セイロ15S

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 整 理 | 2. 整 頓 | 3. 清 掃 | 4. 清 潔 | 5. 躰 |
| 6. 作 法 | 7. 清 楚 | 8. 素 直 | 9. 親 切 | 10. 誠 実 |
| 11. 信 用 | 12. 真 剣 | 13. 正 義 | 14. 辛 抱 | 15. スマイル |



(厚木本店)
関東運輸局長表彰受賞
2011年10月26日

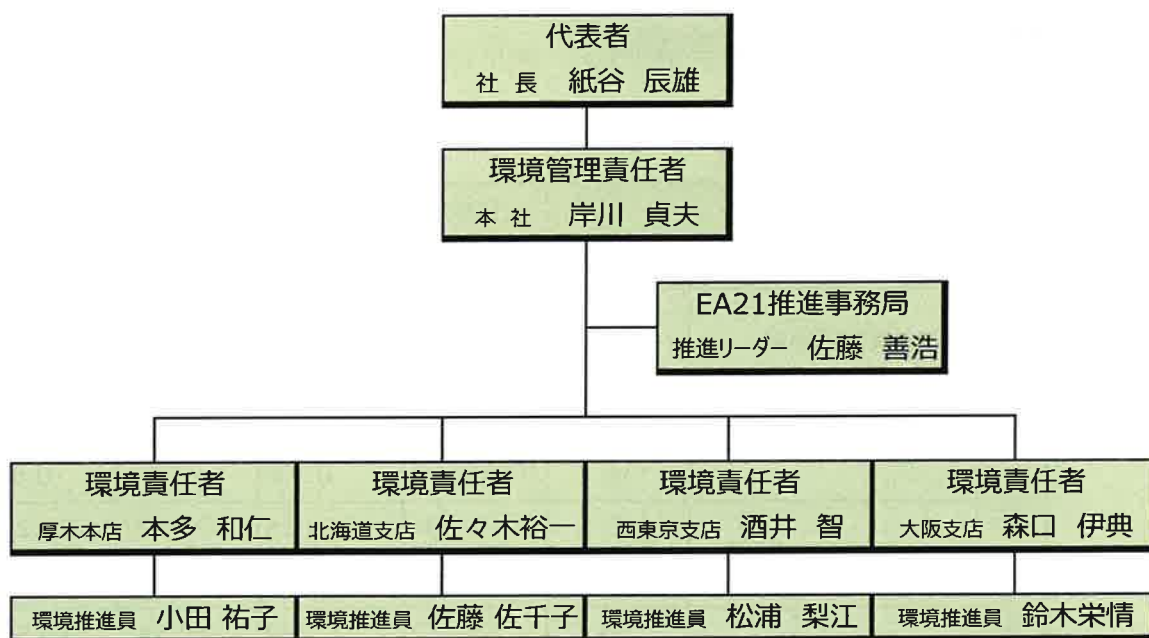


エコアクション21
認証・登録 10年継続記念
2015年度



(大阪支店)
近畿運輸局長表彰受賞
2015年2月23日

■ 環境経営実施体制と役割



代表者	・環境管理責任者及び環境責任者の任命 ・環境経営方針の制定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営実施体制の構築及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの確立、実施および維持するための最高責任者 ・推進機関であるEA21事務局の責任者として事務局運営 ・環境経営システムの教育・訓練の計画・実施するための最高責任者 ・環境関連法規等取りまとめ表を承認 ・環境目標、環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	・環境管理責任者を補佐し、全員参画によるEA21の運営推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開
環境責任者	・環境経営システムの実施および環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の計画と実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応のための訓練の実施、記録作成 ・問題点の発見、是正、予防措置の実施
環境推進員	・環境活動の実績集計及び環境責任者の補佐
全従業員	・環境経営方針を理解し、自主的・積極的に環境活動に参加

■ 過去4年間の環境経営実績

1 環境活動への取組実績

項 目		単 位	実績 2022年度	実績 2023年度	実績 2024年度	実績 2025年度
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	157,422	159,199	160,413	162,156
		%	対前年増減率	1.1%	0.8%	1.1%
	電力使用量	kwh	149,211	149,222	143,616	142,913
		%	対前年増減率	0.0%	-3.8%	-0.5%
	ガソリン及び軽油使用量	ℓ	25,698	26,815	27,527	28,237
		%	対前年増減率	4.3%	2.7%	2.6%
廃棄物	廃棄物排出量	kg	61,443	59,367	48,147	50,598
		%	対前年増減率	-3.4%	-18.9%	5.1%
水	水使用量	m ³	1,149	1,303	1,243	1,186
		%	対前年増減率	13.4%	-4.6%	-4.6%
商品	エコ車検実施台数	台	394	390	382	376
		%	対前年増減率	-1.0%	-2.1%	-1.6%
	新車エコカー販売台数	台	36	49	35	34
		%	対前年増減率	36.1%	-28.6%	-2.9%
	中古車リユース販売台数	台	97	114	120	140
		%	対前年増減率	17.5%	5.3%	16.7%

2 経済活動への取組実績

項 目		単 位	実績 2022年度	実績 2023年度	実績 2024年度	実績 2025年度
売上高	総売上高	千円	658,752	749,659	777,294	800,856
		%	対前年増減率	13.8%	3.7%	3.0%
	整備売上高	千円	412,004	426,020	446,923	458,546
		%	対前年増減率	3.4%	4.9%	2.6%
台数	総取扱い台数	台数	18,441	18,660	17,331	16,858
		%	対前年増減率	1.2%	-7.1%	-2.7%

■ 中期環境経営目標

1 環境活動への取組目標

項 目			基準年	目標	目標	目標
			2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	162,156	160,534	158,913	157,291
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
	電力使用量	kwh	142,913	141,484	140,055	138,626
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
	ガソリン及び軽油使用量	ℓ	28,237	27,954	27,672	27,390
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
廃棄物	廃棄物排出量	kg	50,598	50,092	49,586	49,080
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
水	水使用量	m ³	1,186	1,174	1,162	1,150
		%	削減率	-1%	-2%	-3%
商品	エコ車検実施台数	台	376	380	384	387
		%	増加率	1%	2%	3%
	新車エコカー販売台数	台	34	37	41	44
		%	増加率	10%	20%	30%
	中古車リユース販売台数	台	140	154	168	182
		%	増加率	10%	20%	30%

※各社調整後排出係数を使用

2 経済活動への取組目標

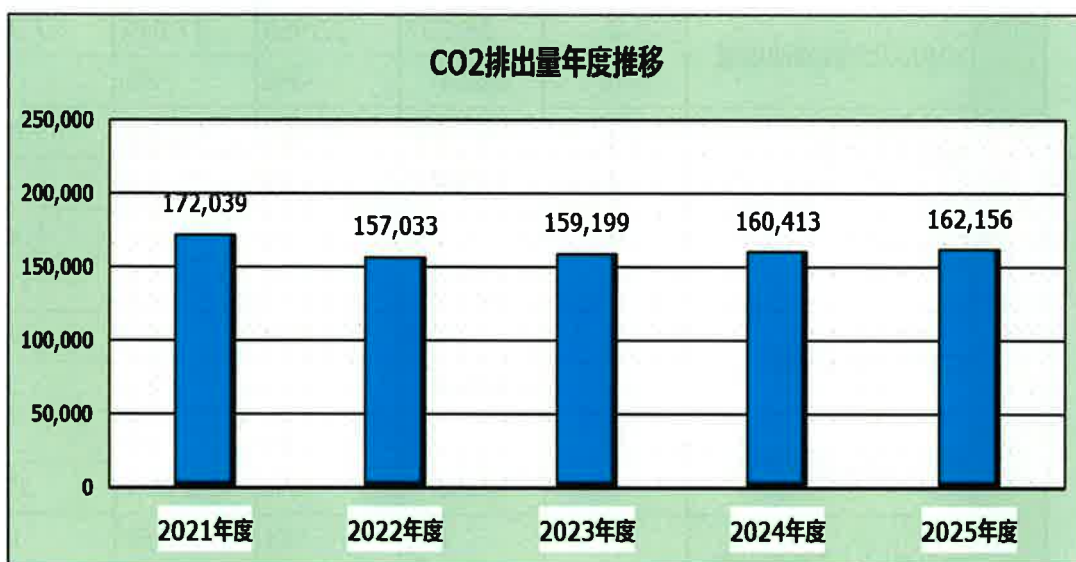
項 目			基準年	目標	目標	目標
			2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
売上高	総売上高	千円	800,856	840,898	864,924	880,941
		%	増加率	5.0%	8.0%	10.0%
	整備売上高	千円	458,546	481,473	495,229	504,400
		%	増加率	5.0%	8.0%	10.0%
台数	総取扱い台数	台数	16,858	17,027	17,195	17,364
		%	増加率	1.0%	2.0%	3.0%

■ 環境活動の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

1 二酸化炭素排出量の削減

単位 : kg-CO₂

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
160,413	158,809	162,156	×
削減率	-1%	1.1%	
環境活動項目			結果
■ 排出係数が低い電力会社への契約見直し			×
■ 電力使用量及びガソリン・軽油使用量の削減			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2025年度の取組結果	電気使用量は削減することが出来たが、ガソリン・軽油使用量が増加して、二酸化排出量は若干増加した。		
2026年度の取組目標	継続取組実施 ◆2025年度を基準に1%削減 160,534 kg-CO ₂ 目標		



Co2排出量 年度推移

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	実績		実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	累計差異
電力	82,762		78,545	-4,217	80,558	2,013	76,884	-3,674	78,720	1,836	-4,042
ガソリン	57,170		49,602	-7,568	53,017	3,415	53,804	787	53,403	-402	-3,767
軽油	12,524		11,140	-1,384	10,223	-917	11,187	964	13,463	2,276	939
灯油	19,171		17,372	-1,799	14,486	-2,886	17,658	3,173	15,750	-1,908	-3,421
LPGガス	412		374	-38	916	541	879	-37	819	-60	407
合計	172,039		157,033	-15,006	159,199	2,166	160,413	1,214	162,156	1,743	-9,883

2 電力使用量の削減

単位 : kwh

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
143,616 削減率	142,180 -1.0%	142,913 -0.5%	◎



環境活動項目	結果
■工場内照明時間の短縮及び屋外照明の消灯PM6:30	◎
■エアコン設定温度の適性化 冷房25度（事務室28度）、暖房20度	◎
■業務改善による残業時間の削減	○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2025年度の実績結果	コロナ禍を契機に、残業時間の削減は定着化して、電気使用量は前年に対し若干減少した。
2026年度の実績目標	入庫管理システムの運用定着 作業員確保と継続的業務改善実施 ◆2025年度を基準に1%削減 141,484 kwh目標

電力使用量年度別実績

単位 : kwh

	2021年度			2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	実績	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	実績	前年差	累計差異
厚木本店	73,624	67,403	-6,221	66,935	-468	66,506	-429	63,250	-3,256	-10,374		
北海道支店	32,999	29,155	-3,844	29,062	-93	26,977	-2,085	27,773	796	-5,226		
西東京支店	20,638	19,066	-1,572	18,395	-671	18,294	-101	20,902	2,608	264		
大阪支店	31,793	33,587	1,794	34,830	1,243	31,839	-2,991	30,988	-851	-805		
合計	159,054	149,211	-9,843	149,222	11	143,616	-5,606	142,913	-703	-16,141		

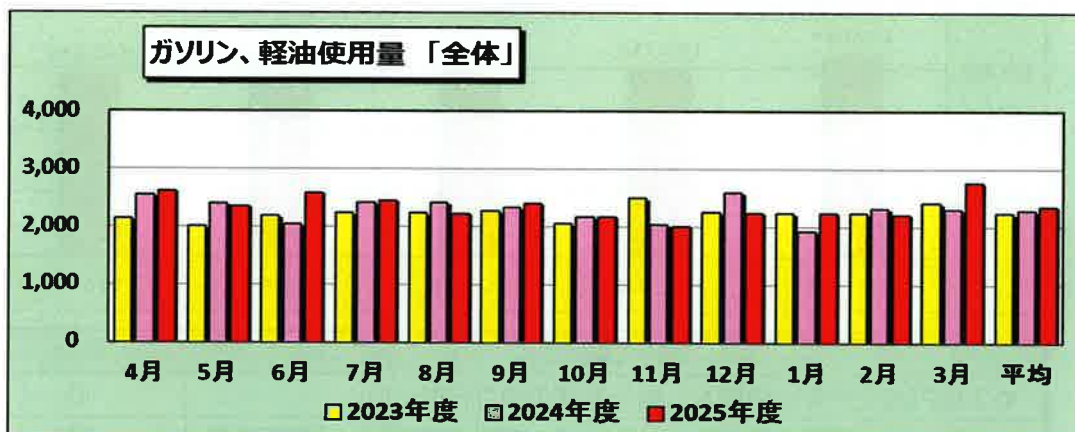
環境省・経済産業省公表 調整後排出係数（2021年1月17日）

	電力会社名	調整後排出係数	契約移行年月
厚木本店	ハルエネ電気(株)	0.509	2025年10月
北海道支店	北海道電力(株)	0.601	2023年3月
西東京支店	東京電力エナジーパートナー(株)	0.441	
大阪支店	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.731	2020年7月

3 ガソリン及び軽油使用量の削減

単位：ℓ

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
27,527	27,252	28,237	×
削減率	-1%	2.6%	



環境活動項目	結果
■ エコドライブの実施	△
■ 営業車のエコ整備点検と低燃費車両への入替促進	○
■ 来店型店舗への顧客誘致	△
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2025年度の実績結果	取扱い台数が増加し、ガソリン軽油使用量が 2.7%増加した。 ※取扱台数当り 2024年1.588 ℓ 2025年1.675 ℓ
2026年度の実績目標	継続実施 ◆2025年度を基準に1%削減 27,954 ℓ 目標



<防災訓練の実施> 厚木本店 2025年9月11日

4 廃棄物排出量の削減

単位 : kg

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
48,147	47,666	50,598	×
削減率	-1%	5.1%	
環境活動項目			結果
■ 廃棄物の実績管理と分別回収			◎
■ 廃棄物の再利用			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2025年度の実績結果	廃棄物の分別回収及び再利用は継続的に実施できた。また、整備売上高の増加により産業廃棄物量は増加（5.1%）した。		
2026年度の実績目標	廃棄物の再利用を徹底する。 ◆2025年度を基準に1%削減 50,092 kg目標		

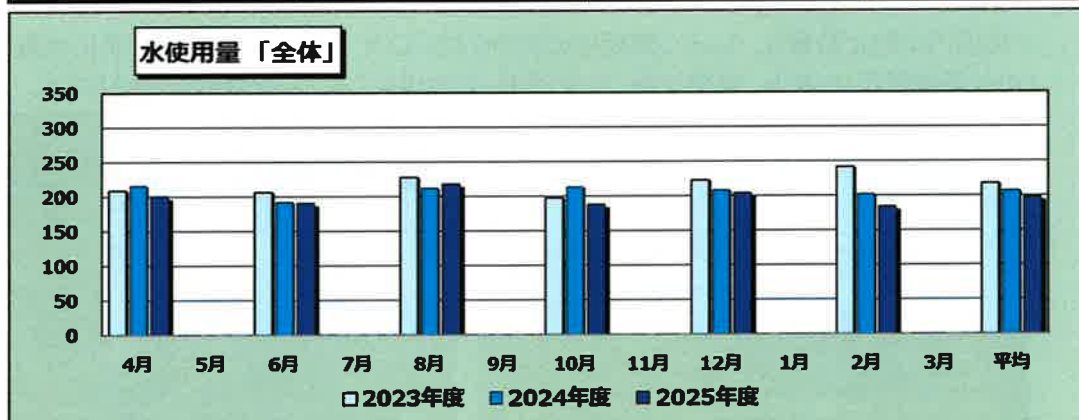


ごみの分別（空きビン、ペットボトル、空き缶）

5 水使用量の削減

単位 : m³

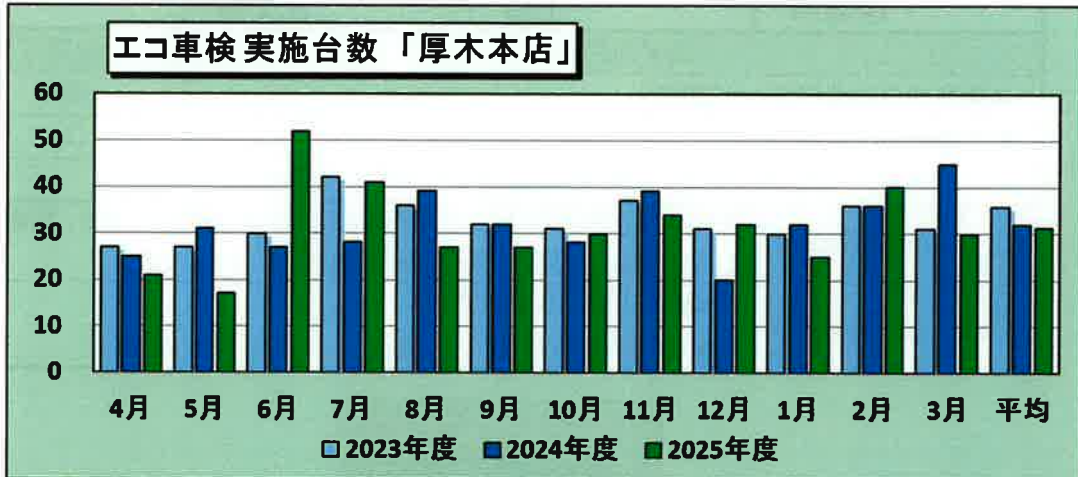
2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
1,243	1,231	1,186	◎
削減率	-1%	-4.6%	



環境活動項目	結果
■ 洗車時の節水に取り組む。	◎
■ 社内清掃時の節水に取り組む。	◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2025年度の実績結果	レンタカーの貸与台数の減少したことにより洗車台数も減少した。 ※取扱台数当り 2024年度0.072 ℓ 2025年度0.070 ℓ
2026年度の実績目標	継続実施 ◆2025年度を基準に1%削減 1,174 m³目標

6 エコ車検（環境汚染防止整備）の実施台数

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
382	386	376	
増加率	1.0%	-1.6%	×



環境活動項目	結果
■ 未実施車両の訴求	○
■ 一般個人顧客の入庫促進強化	△
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった	
2025年度の実績結果	一般個人顧客の入庫促進を重点課題として取り組んだものの、エコ車検の実施台数は前年対比-2.9%（-1台）減少した。
2026年度の実績目標	一般個人顧客の入庫促進と入庫受入れ体制の確保 ◆2025年度を基準に1%アップ 380 台目標

※環境汚染防止整備は、エンジン燃焼室の洗浄により、CO(一酸化炭素)やHC(炭化水素)などの有害排気ガスの減少、燃費改善、性能回復、アクセルレスポンスの改善を実現させます。

エンジンを分解しなくても
新車時の性能がよみがえる

スラッジを
根こそぎ
除去

BEFORE	AFTER

お客様から「良かった」と言ってもらえる車検サービスを提供できます

燃費改善 静寂性UP 性能回復



※財団法人かながわトラストみどり財団を通して、募金活動およびエコ車検の実施台数に応じて緑化事業に寄付行為を行なっています。

※ご利用頂いたお客様には
「緑の羽根」をお渡ししています。



7 新車エコカー販売台数

単位：台

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
35	40	34	×
増減率	14.3%	-2.9%	
環境活動項目			結果
■新車(低燃費エコカー)販売促進			○
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2025年度の実績結果	前年に続き新車納期遅れ等により販売台数は伸びなかった。 2023年度 49台、2024年度35台、2025年度34台		
2026年度の実績目標	ジョイカルFCによる新車カーリース販売強化 ◆2025年度を基準に10%アップ 37 台目標		

8 中古車リユース販売台数

単位：台

2024年度 基準	2025年度 目標	2025年度 実績	達成区分
120	132	140	◎
増減率	10.0%	16.7%	
環境活動項目			結果
■車検代替え、中古車販売促進			◎
◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった			
2025年度の実績結果	新車納期遅れにより中古車に代替えが増加した。 2023年度 114台、2024年度120台、2025年度140台		
2026年度の実績目標	車検代替え促進6ヶ月前アプローチ継続強化 ◆2025年度を基準に10%アップ 154 台目標		

世界の子どもたちにワクチン支援



エコキャップ回収（2,822個 7,055g ）2025.9.2

■ 2025年度 環境経営目標及び環境経営計画

2026年度 環境経営目標及び環境経営計画

令和8年6月1日

1 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→1%削減 2025年度 162,156 kg-CO ₂ 2026年度 160,534 kg-CO ₂	1.電気使用量の削減 2.燃料使用量の削減(ガソリン、軽油)	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

2 電気使用量削減

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→1%削減 2025年度 142,913 kwh 2026年度 141,484 kwh	1.昼休みの工場内照明消灯 2.ロッカー、食堂内未使用時消灯 3.エアコン設定温度 (夏25度・冬20度) 4.コンプレッサー作業後OFF 5.屋外照明は18時30分消灯	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 季節ごとに実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

3 ガソリン・軽油使用量

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→1%削減 2025年度 28,237 ㍓ 2026年度 27,954 ㍓	1.エコドライブの実行 2.アイドリングストップの実行 3.社用車の定期点検エコ整備の実施 4.社用車にエコドライブ10ポイント設置随時確認 5.社用車を低燃費車種へ代替促進	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

4 廃棄物

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→1%削減 2025年度 50,598 kg 2026年度 50,092 kg	1.ゴミの分別管理 2.コピー用紙裏紙使用 3.報告書の電子化	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

5 水使用量

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→1%削減 2025年度 1,186 m ³ 2026年度 1,174 m ³	1.洗車時の節水に取り組む 2.社内清掃時の節水に取り組む	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

6 エコクリーン整備

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→ 1%増 2025年度 376 台 2026年度 380 台	1.一般個人顧客の入庫促進と受入れ体制の確保 2.エコ整備・エコ車検のメリット(環境対策、燃費向上 パワーアップ等)をユーザーへ説明する	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施

7 新車エコカー販売

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→ 10%増 2025年度 34 台 2026年度 37 台	1..エコカー(新車・新古車)へ買換え促進アプローチ 2.新車カーリース販売強化 3.ジョイカルFC加盟サブスク販売強化	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 下半期実施強化

8 中古車リユース販売

環境経営目標	具体的実行計画	スケジュール
基準年(2025年度)→ 5%増 2025年度 140 台 2026年度 154 台	1.車検代替え6ヶ月前買換え促進アプローチ	年間通じて毎日実施 年間通じて毎日実施 下半期実施強化

■ 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃油等）
騒音・振動規制法	自動車、コンプレッサー7.5kw届出
水質汚濁防止法	自動式門型洗車機
消防法（危険物）	シンナー、灯油、オイル
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	トルエン、キシレン、エチルベンゼン、メタノール等
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	アイドリングストップ
札幌市生活環境の確保に関する条例	アイドリングストップ
東京都環境確保条例	アイドリングストップ
豊中市環境の保全等の推進に関する条例	アイドリングストップ

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境活動の評価

- ◆厚木本店の一般個人顧客の入庫促進を重点課題として取り組むだが、サービス営業の人材補強ができず、エコ車検の実施台数は前々年390台（-4台）、前年382台（-8台）、今期376台（-6台）で毎年減少の歯止めがかからなかった。
- ◆リーダー育成のための教育訓練は、外部講師によるZOOMオンライン研修を、各支店の若手次世代リーダーを対象に毎月1回実施することができた。
- ◆新車販売は、ジョイカルFCカーリースによる個人リースを中心に台数目標10%アップをめざしたが、前々年49台（+13台）、前年35台（-14台）、今期34台（-1台）となり増加することが出来なかった。

(2) 見直しの結果

- ◆エコ車検台数アップは、新規、リピート一般個人顧客の入庫促進のため、サービス営業の人材補強を図る
- ◆2026年度リーダー育成のための教育訓練は、問題解決及びマネージャー研修のカリキュラムを増やしてさらなる成長を期待する。
- ◆新車及び中古車販売は、車販営業の人材を補強と個人リース推進強化で台数目標10%アップを目指



「かながわ地球環境賞」受賞

2019年2月6日

